

2014年 観光情報論

6月10日



第7講 画素数と画像の縮小・Manchester

Manchester (Summary)



1996年6月15日、土曜日の午後11時16分、IRAによる爆弾テロ事件がマンチェスター北部のショッピング街で起き、それが、マンチェスターの都市復興のきっかけとなって、**個人投資家や政府から資金援助**を受けての劇的な再生の機会になりました。

復興計画「マンチェスター・ミレニアム・プロジェクト」の中心施設としてつくられた都市生活のミュージアム「URBIS」は2002年にオープンし、活動のコンセプトは、**産業博物館のような既存の展示スペースとは異なる運営をし、都市における生活やそこに生じる課題など、リアルタイムに変化していくテーマを扱っていて、「都市の新しい文化を知るための場」**になっています。

建物はカテドラル広場に面し、地上7層、地下1層の構成で、テレビスタジオ、ショップ、カフェ、多目的な展示スペースがあります。

URBISでは、社会で比較的弱い立場に置かれている人々がターゲットになっていて、ワークショップやツアーなどを行っており、産業革命発祥の地であり、最初の近代都市としてのマンチェスター市民のプライド、**今後世界に向けて新しい都市の文化を発信していきたいという意気込み**が込められています。(Toshiya Okuhama)



Manchester (Reflection)

不幸な出来事を都市再生へのきっかけにして、見事に復興を果たしたマンチェスターの事例は珍しいのではないだろうか。災害やテロリズムによって街が大きな被害をこうむった場合、日本では、これからの復興へのシンボルや希望となる建築物はあまり造らず、その被害を忘れないように被害を受けた建築物・像の保存することが多いからだ。

過去の出来事を忘れようということではないのだが、**日本はこの未来へのビジョンが明確に示されて復興が進むことが少ない。**URBISのような建築物をつくってしまうと、市民だけでなく、様々なメディアで税金の無駄遣いといわれてしまいがちだ。しかしながら、マンチェスターの事例を見習って、過去の凄惨さを覚えておくだけの建物だけでなく、**これから都市をどう復興させるかのビジョンを示すようなオブジェ、建築物**をつくることも必要だろう。たとえば奇跡の一本松のようなもので、過去の出来事を思い出しながら、これからも力強く立つ、立ち上がるといったことが表現できるものが最も良いのかもしれない。(Yusuke Iwashita)



Manchester (Reflection)

感想として、マンチェスターの都市再生プロジェクトは、これまでの都市とは違い、爆破テロという都市を崩壊させる出来事を市民みんなで乗り越え、一から都市を再生していくというもので、**都市と市民の絆**を感じられました。

都市のミュージアムであるURBISのターゲットが社会で立場の弱い人々であったり、展示物を地元の小学生に作成させたり、ホームレスやロマ人を対象にしたツアーを行っていたりと、立場の弱い子供や、ホームレスも、都市再生に参加させていて、**一部の市民だけでなく、マンチェスターに住む人々全員を巻き込んだプロジェクトで素晴らしい**と思いました。


都市が、市民を大切にしていることが伝わり、都市が市民を愛せば、市民も都市を愛するということを心から強く感じました。(Nao Yoneda)



Manchester (Reflection)

都市再生、復興には様々なきっかけがあると思うが、爆弾テロをきっかけに再生した都市ということで珍しいのではないかと思った。「結果としてこの爆弾テロは衰退していたマンチェスターの都市再生にとってエポックメイキングな出来事となった。」とあるように、そういったある種のマイナスな出来事を乗り越え劇的な再生を遂げたのだから、市民の喜びや、感動はより大きかったのではないかと思う。

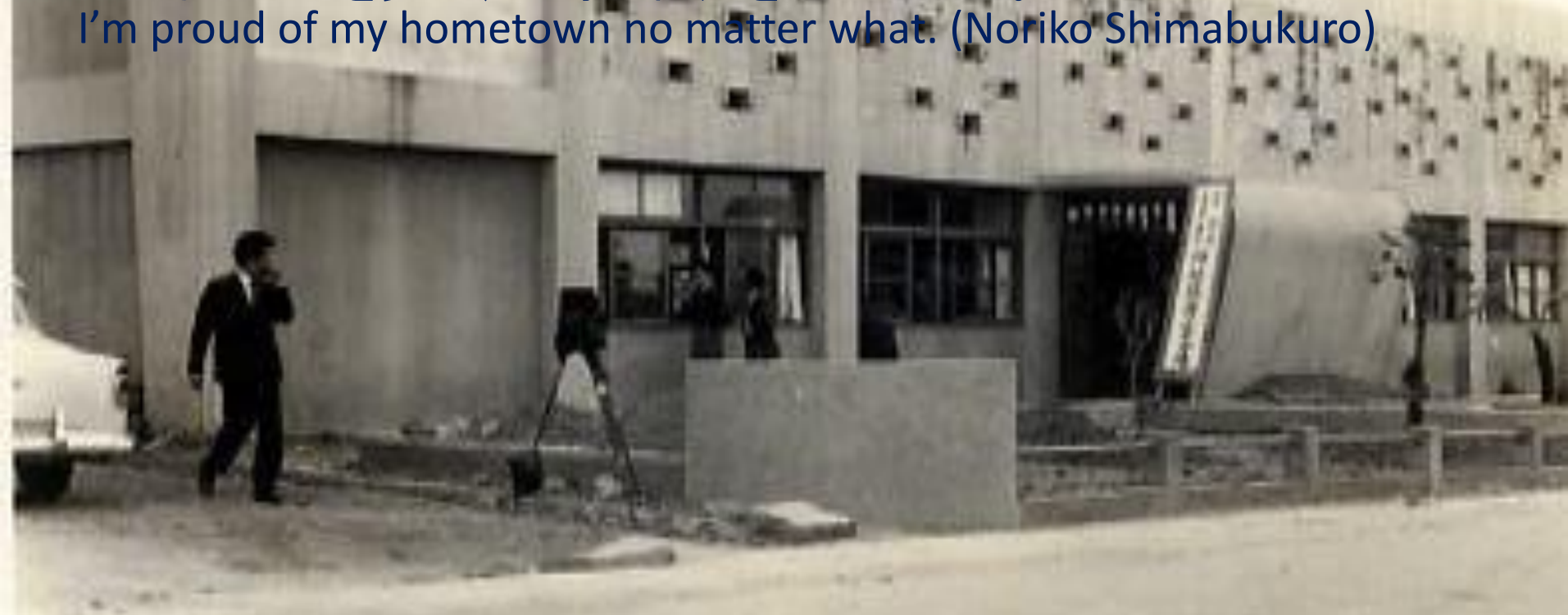
ミュージアムの館内清掃作業を内部スタッフが、警備や清掃をアーティスト志望のスタッフ自らが行う状況をつくることで、より良くする為のアイデアが生まれたり、既存の施設にはない取り組みを行うことで施設の付加価値が高まっていると思う。また、社会的弱者の視点を考え対話を重視するという事はとても大切であり、各国見習う部分だと思う。(Yuta Ikemi)



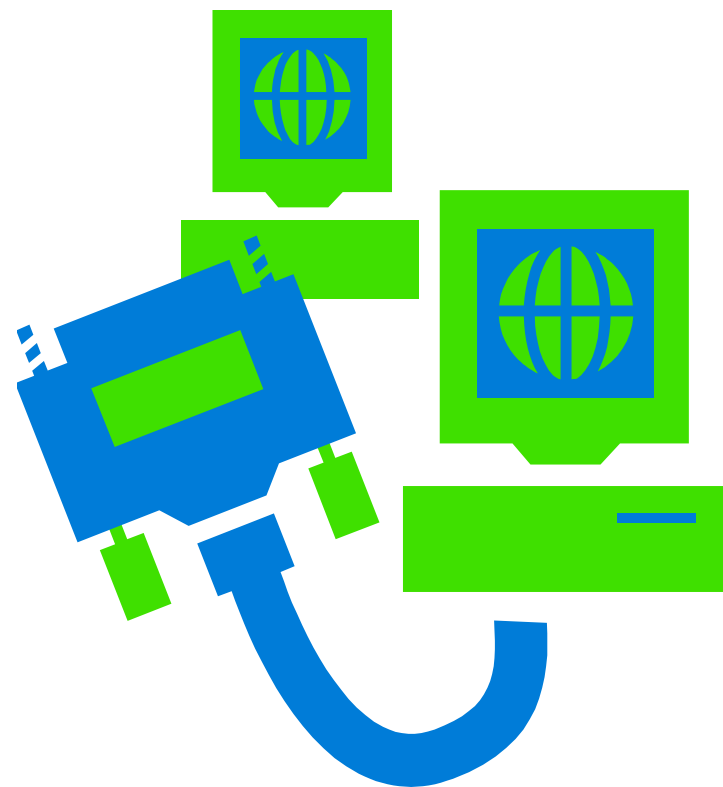
私は1973年、復帰の翌年に沖縄県沖縄市に生まれた。
マンチェスターのURBISについて読んだ時、生まれ故郷のコザにあった
琉米親善センターの記憶がよみがえった。

教育熱心だった母は、小さな私を、琉米親善センターで行われていた本のワークショップに参加させてくれた。自由に色々な本を読んだ後、自分なりの物語を考えて絵本を創る、というものだった。内容はほとんど覚えていないが、建物の雰囲気や室内の様子、一緒にワークショップに参加した親子や指導員のことは何となく覚えている。マンチェスターのURBISで大きなテーブルに向って何かを一生懸命に創っている小さな子たちを見て、当時の自分を思い出した。

I'm proud of my hometown no matter what. (Noriko Shimabukuro)



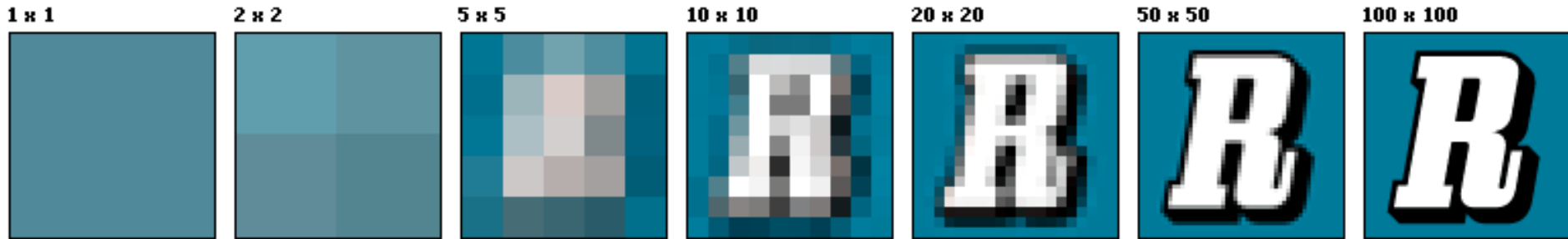
ホームページ



画像の話 1. ピクセル

- 画素(pixel count / resolution)

画面の縦と横を小さな範囲に区切った領域それぞれに色や明るさの数値を与える。



デジカメにおける時代	タテヨコ	画素 (解像度)	写真の 大きさ	年代
10万画素(CGA)	360 x 240	905,200		1997年頃
30万画素時代(VGA)	640 x 460	307,200		1999年頃
100万画素	1280 x 760	972,800	L版	2000年頃
1,000万画素	3600 x 4000	14,400,000	A3版	2005年頃

2. 画像のサイズを変えるには

[宮国の画像ホームページ](#) [Lecture11¥regional_site.html](#)

1. 2004年に撮ったアラスカの写真です。

```

```

(1,280 x 980)

1,254,400画素

612KB

2. 2004年に撮ったアラスカの写真です。

```

```

(350x250)

875,000画素

612KB

ペイントで加工した画像を使った場合。

3. 2004年に撮ったアラスカの写真です。

```

```

(384x 288)

110,592画素

62KB

画像の大きさや重さ(メモリー)を知る！

①写真をそのままのせました。(125万画素)(618kb)



②写真は加工していないが、**メモ帳上**で幅と高さを調節しました。でもメモリーは重い。(87.5万画素)(618kb)



③目指すはこれ！

写真はweb用に**加工(サイズダウン)**して11万画素のものを**そのまま**載せました。メモリーは軽い。(36kb)

演習1-1: 画像を小さく加工



1. スタート→アクセサリ→ペイント

2. メニューバーよりファイル→開く・・・加工したい大きな写真ファイルを選ぶ(どれからはじめてもよい)
3. 開いたら、カーソルを絵の一番右左下にもっていき、何ピクセルあるか見てみよう。
(元のファイル: ピクセル)

1. メニューバーよりサイズ変更 → ピクセル 幅400以下にする。(ディスプレイ画面に出したときに適切な大きさにする)

2. 開いたら、カーソルを絵の一番右左下にもっていき、何ピクセルあるか見てみよう。
(現在のファイル: ピクセル)

3. 現在のファイル名に _r1 をつけてファイル名を付け直す
今のファイルが infocenter.htm であるなら、infocenter_r1.htm

4. スタート→アクセサリ→エクスプローラ

5. ホームページが入っているフォルダーを画面の左欄でクリックし、メニューバーより表示 → 詳細 ピクセル数が減少していますね!

演習1-2: 画像を小さく加工



1. Onsite_info.htmに使う全ての画像を加工する。
2. Onsite_info.htmのメモ帳のイメージタグの中に修正したファイル名を入れる。
3. Onsite_info.htmがきれいに表示されることを確認する。
4. これから、写真などをホームページに入れるときは、適切な画像の大きさを考えて、大きすぎるファイルは全てこのように加工してください。

演習2-1. index.htmファイルを作成



自己紹介のホームページを簡単に作り、[index.htm](#)と名前を付けて保存。

- ① 写真あるいは自分のイメージ画像を入れる
- ② 自己紹介を簡単に書く
- ③ あなたのページで紹介すること(グループ分担の一部)を述べる。
例: 私のページでは西表のワークショップについて紹介します。
- ④ 西表のワークショップへリンクをつける。
例: `a href = "iriomoteworkshop.htm" `
- ⑤ civicpride.htmへ、リンクを付ける
- ⑥ onsite_info.htmへ、リンクをつける。(先週のプリントを参照)
- ⑦ Ideal_trip.htmへ、リンクも付ける。
- ⑧ グループのページトップへのリンクをつける。
例: グループのページは `ココ `
- ⑨ 観光情報論へのリンクをつける
例: ``

演習2-2. 写真と画像をホームページに入れよう！

ファイル名、命名の4原則

1. 直接入力
2. 英字(漢字・かな・カタカナは使用しない) 小文字
3. 正しい拡張子があるか確認する。
4. スペースやハイフンを使う場合、代わりに Under bar を使う。
5. 大文字と小文字の区別(実際のfile名とメモ帳に書くfile名は同じにする)

期末プロジェクト提出の基準

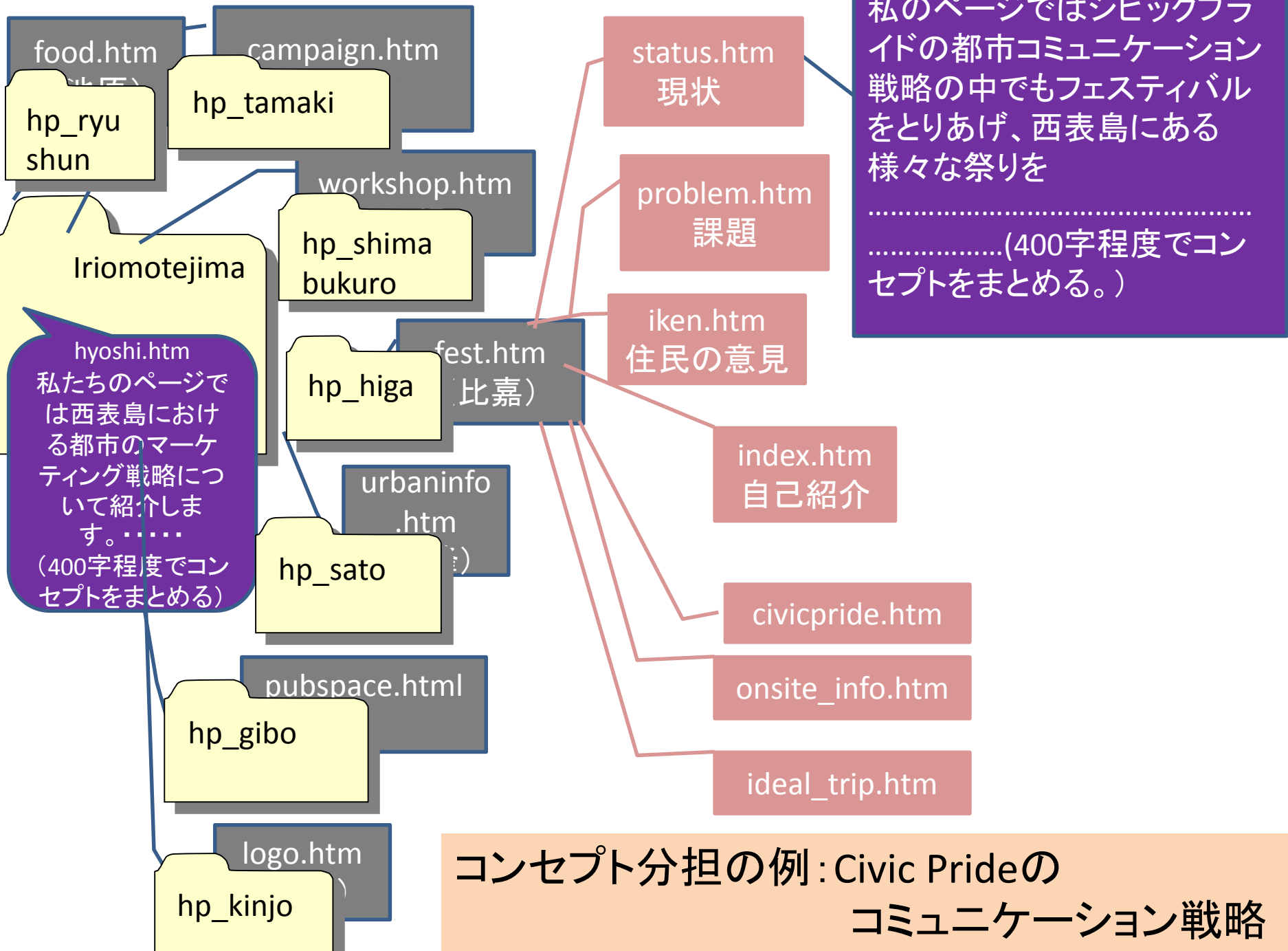


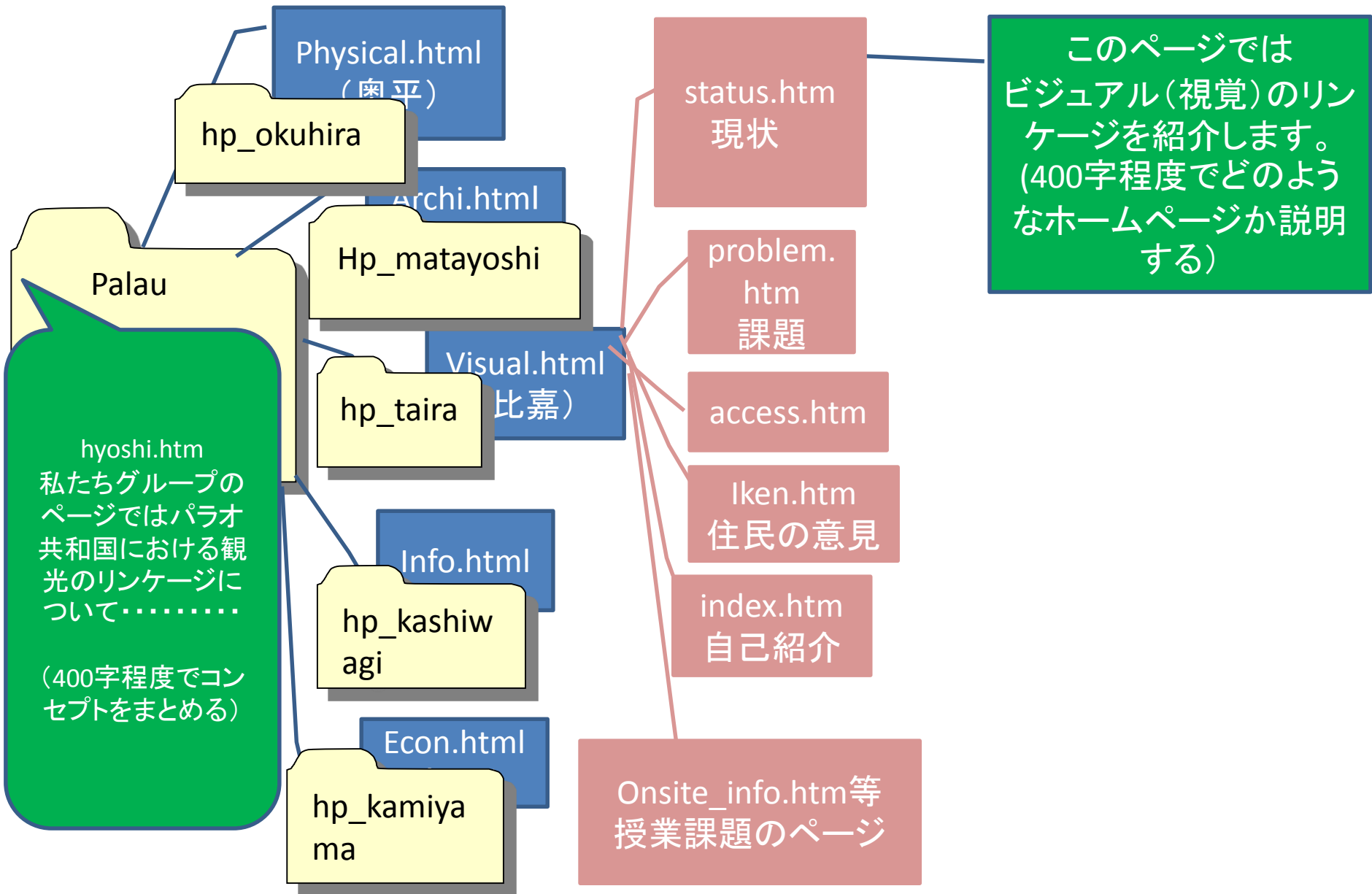
1. 最低限必要なファイルと内容

- ① グループの表紙ページ(日・英)にその「観光情報のコンセプト(このテーマを選んだ理由・観光情報との関係性・研究方法{資料収集の方法}」を400字程度で示す。ホームページの内容はオリジナルで、フィールド調査にもとづいたものであり、観光情報にふさわしいものであること。
- ② 個人の表紙ページ(日・英)
- ③ リンク先のページ(内容のページ3枚以上)(日・英 計6枚)
- ④ 参考文献のページ (reference) (日・英)
- ⑤ ホームページ作成後の感想(日・英)
- ⑥ 自己紹介ページ (index.htm) (日・英)
- ⑦ Reference(参考文献)のページを載せる。参考文献はWebだけでなく紙媒体から集める(2つ以上・著書、ガイドブック、無料情報誌。パンフレット等)。
- ⑧ 観光情報論へのリンクをつける。

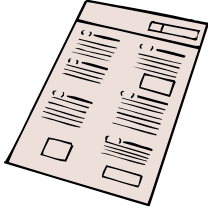
2. 個々のページに必要なリンク

- ▶ 「次のページ」に行くリンクボタンと「前のページ」に戻るボタン
- ▶ 「Topに戻る」・「自己紹介(課題のページへのリンク含む)」・「Reference」に行くボタン
- ▶ 各ページに「英語のページ」に行くリンク (「英語のページ」には「日本語」へ行くリンク)
- ▶ 観光情報論のページに行くリンク





コンセプト分担の例： 観光リンクページ



課題

1. Civic Prideの事例「Bordeaux」についてまとめと感想を civicpride.htmに付け加えて、メールで提出。自己紹介のページ(index.htm)を提出、
 まとめ(400字程度)
 感想(300字程度)。
2. 期限:2014年6月15日(日) 11:59pm
5. 件名:観光情報論__ボルドー__自己紹介のページ
6. メール先:kaorukom@eve.u-ryukyu.ac.jp



期末発表 Schedule (グループ:4~5名) 夜間主

発表日	グループテーマ	表紙ページの File Name	班長と副班長	その他のメン バー
7月1日	1.		島袋典子 金城愛未	高安潤 仲宗根康二 塩濱慶
	2.		柏木巧 池味陽太	羽地祥紀 山城耕平
7月8日	3.		宮城真実 仲村かおり	上原佳子 多嘉良麻美
	4.		上原健治 上原愛	比嘉支帆里 嘉陽夏希
7月15日	5.		米田菜緒 平良美知	岸本華衣
	6.			
7月22日	7.		金城愛海 倉山さき	
	8.			



期末発表 Schedule (グループ:4~5名) 昼間主

発表日	グループテーマ	表紙ページの File Name	班長と副班長	その他のメン バー
7月1日	1.		おくひらみずほ、 かながのぞみ	野村ヒロ、かんじ、 神山かずま
	2.未定		中村洸太、岩下 優佑	山田佳奈子、宮 良 信樹、金城 光浩
7月8日	3.ようこそ！ 沖縄へ！	Youkosookinawa he.htm	柳俊と上原崇利	金龍海とソウモ ゲン
	4.ゆうむ	Yuumu.htm	宜保百絵、比嘉 優夢	岸本大亮、城間 悠
7月15日	5.さっきょー	Sakkyoo.htm	又吉誠と西本い お	椋太郎or泰誠or 早京
	6.沖縄の〇〇！	oki_maru.htm	奥浜敏哉、竹内 曜寛	上原 武、砂川 渉
7月22日	7.沖縄の観光情報	Okinawa.htm	宮里健太郎 山城由紀子	宮里和希 ファブリスノエミ
	8.		金城有紗 佐藤真理恵	荻堂奈津紀 東ゆうき